

Ⅱ 平成 30 年度の特筆すべき取組／令和元年度の計画

【平成 30 年度実績】

1. 東日本大震災3次元デジタルアーカイブ事業

No.37 ①-1 東北大学復興アクションの着実な遂行

No.38 ①-2 復興に長期を要する被災地域への貢献

実績報告

総合学術博物館では、東日本大震災の震災遺構や原発事故被害地域の文化財などを3次元デジタルアーカイブ化し、そのコンテンツを防災教育や地域復興に活用する事業を平成 24 年度から継続し、実施している。平成 30 年度は、富岡町からの受託研究費、博物館運営費を財源とし、ライカジオシステム株式会社、株式会社エリジオンの協力を得て、富岡町の愛宕神社・王塚神社・富岡レンガ工場跡の3次元計測を実施した。また、取得した3次元データを活用し、VR(バーチャルリアリティ)による3次元体験も継続して行っている。12月16日に行われた仙台宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)主催の「ミュージアム・ユニバース 2018」では、せんだい 3.11 メモリアル交流館と協力して、「荒浜を見てもようーVR と思い出でたどる海辺の街」を実施し、仙台市荒浜小学校の3次元体験を市民を対象に行った。12月22日には、千葉大学と共同主催、千葉県などと共催で「将来の巨大地震を考える in CHIBA」を千葉市で開催し、VR体験も行った。当シンポジウムには、来賓として渡辺博道復興大臣の御挨拶をいただき、東北大学の取組を大きくアピールできた。NHK が9月2日に全国放送した「証言記録スペシャル～震災を伝える～」では、出演のカニング竹山氏とサンドウィッチマン伊達氏が、番組内でVR体験を行い、本学の取組が大きく紹介された。

【報道】NHK9月2日に全国放送「証言記録スペシャル～震災を伝える～」

が大きく紹介された。

 [2-1.2018 ミュージアムユニバース_A4.pdf](#),  [2-2.chiba_jishin.pdf](#)

仙台のさまざまな
ミュージアムが大集合！
もっと楽しく、
もっと学べる2日間です。

ミュージアム フェスティバル

すてき・ふしぎ・おもしろい

- トークとイベントの広場
- 体験の広場
- 展示の広場
- ミュージアムグッズショップ
- ミュージアムトークサロン
(14日のみ)

2018 **12.14** [金] 19:00 - 20:30 **15** [土] 10:00 - 17:00 **16** [日] 10:00 - 16:00
せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア 入場無料

【会場アクセス】

徒歩／仙台駅より約20分

地下鉄／南北線勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分。東西線大町西公園駅下車、「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分
バス／仙台市営バス 仙台駅前60番(仙台TRビル前・地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから

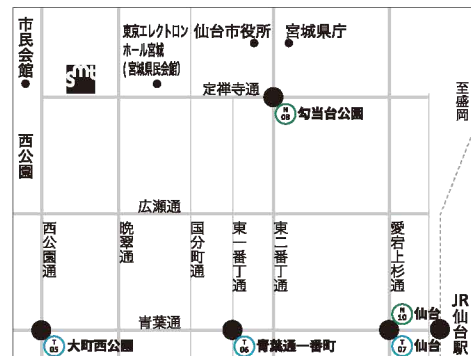
「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行きで約10分、メディアテーク前下車

【主催】仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)

【お問い合わせ】仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局

H30実績(2 / 18)

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1 せんだいメディアテーク内 TEL 022-713-4483



ミュージアムって、なんに楽しい。

ミュージアムユニバース

すてき・ふしぎ・おもしろい

SMMAに参加しているミュージアムが、それぞれの「とっておき」とともにせんだいメディアテークに大集合！ミュージアムの「すてき・ふしぎ・おもしろい」を伝えるさまざまなプログラムに参加して、「知る」ことの楽しさをぜひ体感してください。ミュージアムのスタッフが会場でお待ちしています。



トークとイベントの広場

12月15日(土)

13:00 **完全再現!アイヌの民具**
13:45 東北学院大学博物館 学生



14:00 **クイズ&トーク「知ってる!?仙台の歴史」**
14:45 (地底の森ミュージアム、仙台市縄文の森広場、仙台市博物館、仙台城見聞館、瑞鳳殿、仙台文学館、仙台市歴史民俗資料館、仙台市戦災復興記念館、史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設)

仙台歴史ミュージアムネットワーク

15:00 **石のわれ方、わり方おみせします**
15:45 仙台市縄文の森広場 学芸員 佐藤祐輔

16:00 **ニュートンの愛した錬金術**
16:45 東北大学総合学術博物館 助教 小川知幸

12月16日(日)

10:30 **8年目の被災地を考える—残したいこと、伝えたいこと—**
11:30 東北大学総合学術博物館 技術職員 鹿納晴尚
七郷語り継ぎボランティア「未来へ—郷浜」代表 今野正志
震災遺構仙台市立荒浜小学校 高山智行
せんだい3.11メモリアル交流館 田澤絢子

13:30 **福島美術館クロージング企画**
14:15 **福島禎蔵とフィランソロビー**
話し手:河北新報社 安倍樹
聞き手:社会福祉法人共生福祉会 福島美術館 学芸員 尾暮まゆみ



14:30 **ミュゼバトル5~わたしのイチ押しミュージアムはコレよ!**
15:30 ファシリテーター:せんだいメディアテーク 学芸員 清水有

体験の広場

12月15日(土) 10:00~17:00

色が変わる?!不思議なカードをつくろう
スリーエム仙台市科学館

石器を使おう!
地底の森ミュージアム

しおりをつくろう!
仙台文学館



ASOBIの達人・超
東北学院大学博物館

ピース!ピース!ピース!鉄道チャレンジ
東北福祉大学・鉄道交流ステーション

12月16日(日) 10:00~16:00

おもしろ縄文体験「よりより縄文ミサンガづくり」
仙台市縄文の森広場

「もこ玉」を作ろう
セルコホーム ズーパラダイス八木山

ホンモノを使ってオリジナル展示を作ってみよう!
みちのく博物楽団

型紙を使ってミニカードを染めよう
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

荒浜を見てみよう—VRと思い出でたどる海辺の街—
東北大学総合学術博物館×せんだい3.11メモリアル交流館



展示の広場

ミュージアムの取り組みや、旬な情報をお伝えします。



ミュージアムグッズショップ

ミュージアムのイチ押しオリジナルグッズを集めたセレクトショップが2日間限定で開店します!



大人の知的好奇心をくすぐるミュージアムならではのトーク。ドリンクを片手にお楽しみください。

12月14日(金) 19:00 先着40席 | 会場 クレブスキールカフェ
20:30 1ドリンクオーダー制 | せんだいメディアテーク1階
古代ローマの戦闘技術と「パクス・ロマーナ」
東北大学総合学術博物館 助教 小川知幸

*プログラムは予告なく変更することがあります。最新情報はウェブサイトでご確認ください。*写真は参考です。



SMMA(仙台・宮城ミュージアムアライアンス)は仙台・宮城地域のさまざまなミュージアムによる共同事業体で、現在18館が参加しています。

【参加館】

- 社会福祉法人共生福祉会 福島美術館
- 仙台うみの杜水族館
- スリーエム仙台市科学館
- せんだい3.11メモリアル交流館
- 仙台市縄文の森広場

- 仙台市天文台
- 地底の森ミュージアム
- 仙台市博物館
- セルコホーム ズーパラダイス八木山
- 仙台市歴史民俗資料館

- 仙台文学館
- せんだいメディアテーク
- 東北学院大学博物館
- 東北大学総合学術博物館
- 東北大学史料館

- 東北大学植物園
- 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
- 東北福祉大学・鉄道交流ステーション

詳しくは、ウェブサイト
「見聞楽学www.smma.jp」をご覧ください。



将来の巨大地震を考える in CHIBA

必ず来る南海トラフ巨大地震、首都直下地震に備えて、スロースリップ地震などの最新の地震研究の現状を紹介し、防災意識を高めてもらうことを目的とする講演会を開催します。東日本大震災の被害状況などを紹介するパネル展示や、東日本大震災の震災遺構の3Dデジタルアーカイブ映像のバーチャルリアリティ（VR）体験展示*も行います。

開催日：平成30年 **12月22日（土）**

会場：TKP ガーデンシティ千葉3階シンフォニアA

先着300名さま（席がなくなり次第、立ち見となります）

講演会：13:00～17:00

展示会場：3階シンフォニアA前ホワイエ

展示会開催時間：10:00～17:00

参加費：**無料**

主催：千葉大学、東北大学総合学術博物館

共催：千葉県、東北大学災害科学国際研究所

後援：千葉県旭市、地震・津波対策を考える都道府県議会議員連盟

問合せ先 東北大学総合学術博物館 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 TEL/FAX：022-795-6767

千葉大学大学院理学研究院 地球科学研究部門 FAX：043-290-2859



*VR体験展示は中学生以上を対象とします

会場アクセス

所在地〒260-0025

千葉県千葉市中央区問屋町1-45
カンデオホテルズ千葉内
TKP ガーデンシティ千葉

- JR京葉線 千葉みなと駅
幸町・千葉港・問屋町方面出口 徒歩11分
幸町・千葉港・問屋町方面出口 バス5分
- JR総武線 千葉駅東口
バス 約10分
- 千葉モノレール1号線 市役所前駅
出入口1 徒歩7分
- 京成電鉄千葉中央駅
西口 徒歩9分



プログラム紹介

開 会 13:00

開会の挨拶 今井 勝 千葉県議会議員

挨拶 1 渡辺博道 復興大臣

挨拶 2 高橋 渡 千葉県副知事

挨拶 3 梶原大介

地震津波対策を考える都道府県
議会議員連盟幹事長
(高知県議会議員)

講 演 (13:20 ~ 16:55)

●チバニアンとは何か

(13:20-13:50)

亀尾浩司

千葉大学大学院

理学研究院・准教授



●スロースリップとは何か

(13:50-14:20)

佐藤利典

千葉大学大学院

理学研究院・教授



●3月11日に家族が体験した津波

(14:20-14:50)

宮本英一

消防庁災害伝承 10 年プロジェクト

「語り部」(千葉県旭市)



●被災地からの現状報告

(14:50-15:10)

畠山和純

地震津波対策を考える都道府県議会議員連盟
会長、宮城県議会議員



休憩 15:10-15:25

●首都圏で起きる大地震と震災

(15:25-15:55)

平田 直

東京大学地震研究所・教授



●地震災害から都市を守る

(15:55-16:25)

山崎文雄

千葉大学大学院

工学研究院・教授



●地震津波から命を守る 一児童の判断
力と行動力につながる科学のカー

(16:25-16:55)

保田真理

東北大学災害科学国際研究所

・プロジェクト講師



閉会の挨拶

千葉大学大学院理学研究院・教授 中西正男

展示会情報

10:00-17:00 シンフォニア A 前ホワイエにて

・千葉県旭市展示 東日本大震災の記録

～"あの日"に起きたこと～

・東北大学総合学術博物館 震災遺構 VR 体験展示

おひとり 5 分程度 (※中学生以上対象、整理券配布)

などを予定しています。

2. 学術資源の登録有形文化財答申事業

No.35 ②-1 社会連携活動の全学的推進

実績報告

東北大学史料館が所蔵する「官立高等教育機関営繕組織近代建築図面」が、工学研究科都市・建築学専攻が保有する資料と合わせて、平成31年3月18日に登録有形文化財(美術工芸品)に答申された。昨年(平成29年10月27日付)、東北大学史料館を含む片平キャンパス建造物5棟が東北大学初の登録有形文化財となっており、本答申はこれに続く2つ目の成果となった。今回のような美術工芸品分野での登録は全国で14件しかなく、東北大学が保有する学術資源の価値が高く評価された。これらの図面の一部は、史料館内で展示するだけでなく、平成30年10月23日～平成31年2月11日まで国立近現代建築資料館の企画展「明治期における官立高等教育施設の群像」(開館5周年記念企画)に出展し、学術資源を活用した本学の社会連携活動に大きく貢献した。

【報道】「文化審答申／登録有形文化財」『河北新報』3月19日朝刊、TBC東北放送3月18日「Nスタみやぎ」、KHB東日本放送3月18日「スーパーJチャンネルみやぎ」、J:COM仙台3月26日「デイリーニュース」

 [3.文化庁報道資料\(抜粋\).pdf](#)

3. 登録有形文化財（美術工芸品）の登録

<歴史資料の部>

(有形文化財を登録有形文化財に 2件)

- | | | |
|---|---|---------|
| ① | <small>けんちくきょういく けんきゅうしりょう</small>
建築教育・研究資料
<small>せんだいこうとうこうぎょうがっこうけんちくがっかきゅうぞう</small>
(仙台高等工業学校建築学科旧蔵) | 千四百三十七点 |
| ② | <small>かんりつこうとうきょういくき かんえいぜんそし ききんだいけんちくずめん</small>
官立高等教育機関営繕組織近代建築図面
<small>とうほくていこくだいがくえいぜんかきゅうぞう</small>
(東北帝国大学営繕課旧蔵) | 千百三十九点 |

3. 登録有形文化財（美術工芸品）の登録

<歴史資料の部>

（有形文化財を登録有形文化財に 2件）

① けんちくきょういく けんきゅうしりょう せんだいこうとうこうぎょうがっこうけんちくがつかきゅうぞう
建築教育・研究資料（仙台高等工業学校建築学科旧蔵）

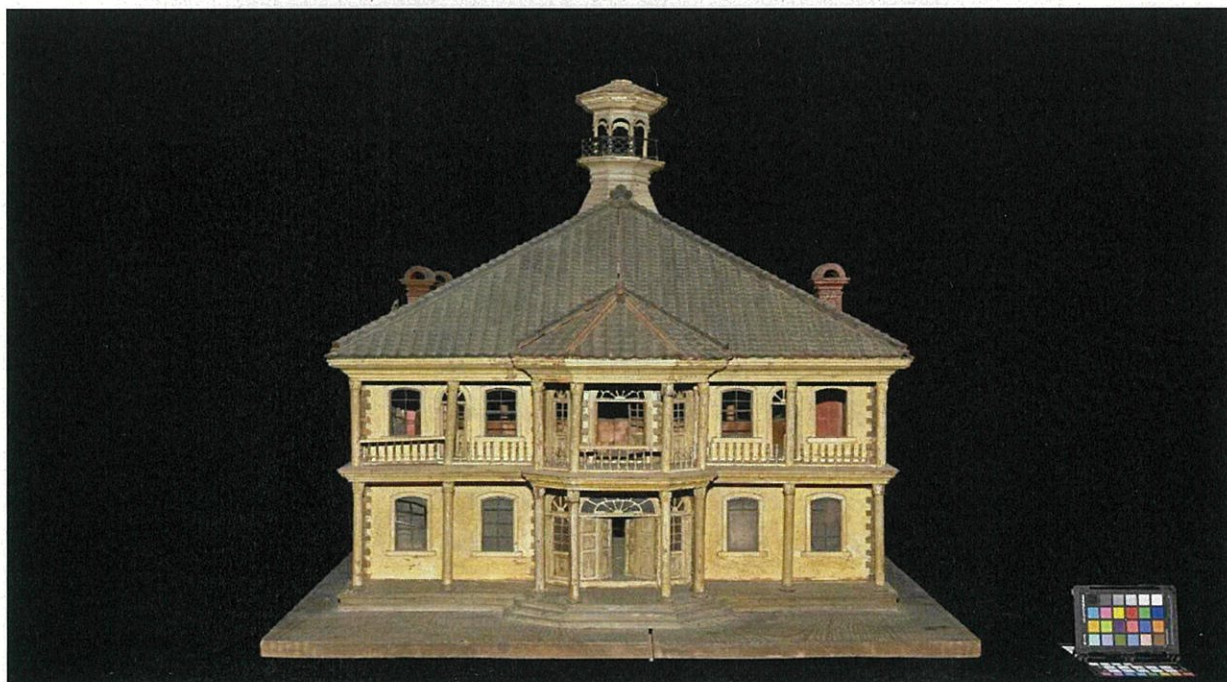
千四百三十七点

【所有者】国立大学法人東北大学（宮城県仙台市青葉区片平2-1-1）

東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻保管

東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻の前身である仙台高等工業学校建築学科（昭和5年学科設置）等において、同校初代建築学科長兼教授として一貫して建築教育にあたってきた小倉強（1893～1980）を中心に同校教官等により収集、制作、使用された資料群で、建築模型類90点、建築標本類98点、建築古材類87点、実測図面267点、典籍類84点及び写真原板類811点から構成される。地方中核都市の旧制高等教育機関における建築教育、研究資料が多様な分野にわたり関連性を有しながら豊富に残され、その建築教育、研究の実際を窺うことができ、建築史学・教育史上に学術価値を有する。

（昭和時代）



② ^{かんりつこうとうきょういくきかんえいぜんそしききんだいけんちくずめん} ^{とうほくていこくだいがくえいぜんかきゅうぞう} 官立高等教育機関営繕組織近代建築図面 (東北帝国大学営繕課旧蔵)

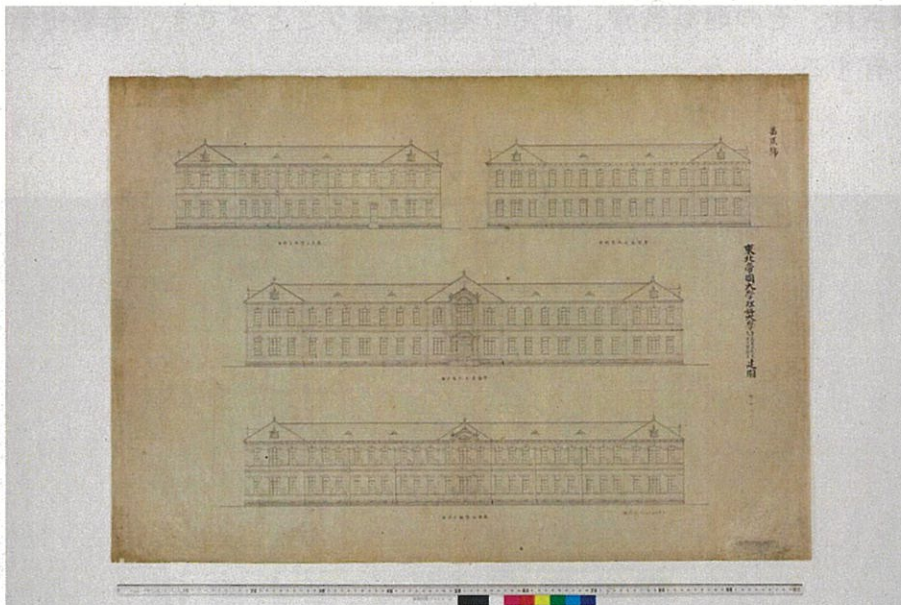
千百三十九点

【所有者】国立大学法人東北大学（宮城県仙台市青葉区片平2-1-1）

東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻、東北大学史料館保管

旧仙台市片平丁などに所在した、第二高等中学校をはじめとする東北大学の前身となった官立高等教育機関等の建築図面類で、東北帝国大学営繕課に保管されていた一群である。これらは、文部省及び東北帝国大学等の営繕組織が設計・監理を担当したもので、明治20年（1887）設立の第二高等中学校のものを最古のものとして、学制改革に伴い新制の東北大学に改組される以前の昭和24年3月までの図面類を一括して登録対象とする。当該建造物の構造、意匠、諸室配置、内装、設備など建築の内容を知ることができるだけでなく、設計機関、設計者の具体を窺うことができるもので、近代日本の高等教育機関の営繕組織の変遷、すなわち文部省から東北帝国大学の建築掛・営繕課へと移行していく歴史的経緯を明らかにする。近代の高等教育機関の建築史、教育史等研究上に学術価値が認められる。

(明治時代～昭和時代)



3. 東北大学研究資源・研究成果展示公開事業

No.35 ②-1 社会連携活動の全学的推進

No.36 ②-2 知縁コミュニティの創出・拡充への寄与

実績報告

東北大学で蓄積されてきた研究資源や研究成果を、展示などによって広く社会に紹介するアウトリーチ活動として常設展示に加えて、センター3施設合同企画展示「東北大学お宝見参 in 付属図書館」(附属図書館エントランス、7月2日～20日)、企画展「ウタツギヨリュウと南三陸地域の化石」(宮城県庁県政広報室で開催、10月1日～11月2日)、生命科学研究所との共同企画展「もっとしりたい日本とキューバのコウモリ」(理学部自然史標本館、10月2日～11月25日)の展示を行った。これらの公開事業は、社会への窓口となり、本学のプレゼンスを示すことに大きく貢献している。特に企画展「もっとしりたい日本とキューバのコウモリ」は、生命科学研究所に在籍する留学生の企画による展示で、国際的な研究活動を進めている東北大学独自の企画として、新聞報道にも取り上げられ注目された。

【報道】河北新報 2018年11月6日

 [1.コウモリ展新聞記事.pdf](#)

コウモリの性質知って

日本とキューバの資料紹介

日本とキューバのコウモリに関する資料を紹介する企画展「もつとしりたい日本とキューバのコウモリ」が、仙台市青葉区荒巻の東北大理学部自然史標本館で開かれている。25日まで。

東北大学院生命科学研究科と東北大総合学術博物館の主催。日本のアブラコウモリの標本やキュー

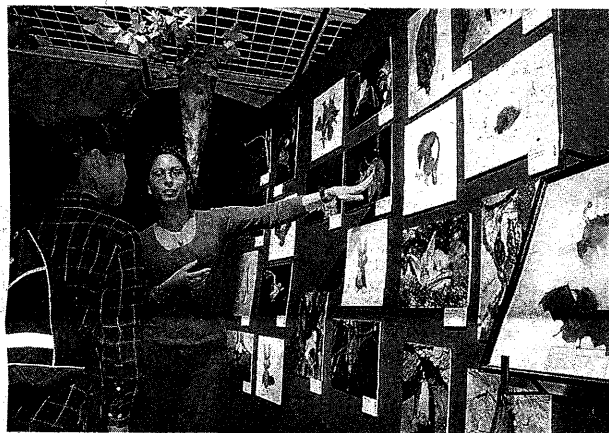
東北大標本館 25日まで展示

バのフラワーコウモリの写真、コウモリの特徴を記したパネルなど約65点を展示する。

コウモリは哺乳類で、ほとんどは花粉や果実、昆虫を餌にする。植物の種子や花粉を運ぶ役割を持つ。キューバのハバナ大でコウモリを研究し、3年前から東北大学院生命科学研究科博士課程で学ぶリダ・サンチェス・サンチェスさん(29)が、誤解されたイメージを持たれているコウモリの一般的な性質を知ってもらおう、と企画立案した。

11日午前10時半と午後1時半、リダさんが講師となり、折り紙でコウモリを折るワークショップがある。

開館時間は午前10時～午後4時。月曜休館。入館料は大人150円、小中学生80円。入館料でワークショップに参加できる。連絡先は東北大総合学術博物館022(795)6767。



コウモリの展示資料を説明するリダさん

4. 植物園を活用した自然保護教育および文化交流の実践

No.36 ②-2 知縁コミュニティの創出・拡充への寄与

実績報告

植物園では天然記念物「青葉山」を活用し、ガイドツアーなどを通して希少な自然生態系の社会的認知の向上と自然環境・希少植物保護のための自然史教育を積極的に行った。30年度は自然生態系・天然記念物「青葉山」と国指定史跡「仙台城跡」の両者を活用し、自治体、市民団体、学内組織と連携して自然史と文化史を合わせたイベントを実施した。これまで5月4日(みどりの日)には、「植物園の日」として植物園の無料開放、青葉山の生態系や絶滅危惧植物保護などの紹介、園内ガイドツアーを行ってきたが、これに加えて埋蔵文化財調査室と連携した園内の史跡の紹介、史料館と連携した園内および川内キャンパスの近代史の紹介もあわせて行った。当日の入園者数は518名、ガイドツアーには167名が参加した。このような近代史との連携ツアーは新しい試みで、これまでにない園内・川内キャンパスの新たな魅力を市民に紹介することができた。11月3日の文化の日には、文学研究科と共催で「紅葉の賀」を開催し、野点、琴の演奏(杜の都伝統文化活性化実行委員会との連携)、俳句会、ガイドツアーが行われ、337名の参加者があった。これらのイベントは、学内の他の組織、自治体、市民団体と協力して実施したものであり、地域交流の中核拠点としての植物園の活用につながった。

【報道】2018年5月4日ミヤギテレビ ミヤギ News every.、仙台放送 プライムニュース、NHK 仙台 ニュース、TBS 東北放送 Nスタみやぎ、東日本放送 スーパーJチャンネルみやぎ、5月5日朝日新聞朝刊。

 [4-1.植物園の日.pdf](#),  [4-2.2018 紅葉賀.pdf](#)



東北大学

5月4日みどりの日は、

Greenery Day

スペシャルガイドツアー

東北大学植物園

植物園の日

Botanical Garden Day
in Tohoku University

入園は、
16:00まで

入園無料だよ!
Admission free

2018 / 5 / 4 **金祝** 9:00 - 17:00

事前のお申込みは不要です! 参加ご希望の方は直接集合場所へお越しください!

雨天の場合は植物ガイドツアーは中止しますが、他のガイドツアーは本館講義室にて講義を行う予定です。小雨の場合は実施します。

植物ガイドツアー

植物園のスタッフが見頃を迎えた園内の植物をご紹介します!

新緑の植物園を満喫!
春の植物園を歩こう

集合: 前庭のハルニレの木の下

山歩きが苦手な方にもお薦め!
ロックガーデンの植物を知ろう

集合: 前庭のシダレザクラの木の下

植物画展示

一般公募の植物画を展示!

期間 5/4 **金祝** 6月(予定)

植物園本館 展示室

歴史ガイドツアー

園内に残る文化財や近現代の歴史から植物園の魅力に迫ります。

文化財を通じて青葉山をめぐる歴史的な事柄を学ぶ
文化財からみる青葉山の歴史

集合: 植物園本館 講義室
先着順 9:00~本館講義室前で受付

植物園を含む川内キャンパスの明治以降の歴史を学ぶ
近現代の植物園と川内キャンパス

集合: 植物園本館 講義室
先着順 13:00~本館講義室前で受付

東北大学

奇術部マジックショー

マジックとジャグリングをお楽しみください!

5/4 **金祝** [開催時間] 9:30-10:00

本館ホール

ガイドツアーは動きやすい格好で来てね

お願い

- ①園路以外に立ち入らないでください。また野生動物保護のため、ペット類を連れての入場はできません。
- ②駐車できる車の台数に限りがあります。毎年、混雑のため渋滞しますので、公共交通機関をご利用ください。
- ③ゴミは必ずお持ち帰りをお願いします。また酒類の持ち込みはお控えください。

主催 東北大学学術資源研究公開センター 植物園

協力 東北大学埋蔵文化財調査室、東北大学史料館

協賛 日本植物園協会

www.biology.tohoku.ac.jp/garden

園内マップ・ツアーの詳細は裏面へ

- モミ林
- スギ林
- コナラ林
- ヨシ原
- アカマツ林
- アカシデ林

デイリーヤマザキ
東北大学工学部東店

Tohoku University
Aobayama
Campus

- 道しるべ
- トイレ
- あずまや
- 水飲場



- A** 二の丸杉並木
- B** 残月亭跡
- C** 最上古道
- D** 堀切
- E** 切通し
- F** 御清水
- G** 蒙古の碑
- H** ロックガーデン

Schedule

ガイドツアースケジュール

当日は午前と午後の部それぞれから1つずつ選択して、ご参加いただけます(午前もしくは午後のみでも可)。希望者多数の場合には、他のツアーにおまわりいただくこともあります。ご了承ください。

AM 午前の部 10:00-12:00	1 春の植物園を歩こう 10:00-12:00	2 ロックガーデンの植物を知ろう 10:00-11:00	3 文化財からみる青葉山の歴史 10:00-12:00
PM 午後の部 14:00-16:00	4 春の植物園を歩こう 14:00-16:00	5 ロックガーデンの植物を知ろう 14:00-15:00	6 近現代の植物園と川内キャンパス 14:00-15:00

1 4 春の植物園を歩こう

所要時間
2時間00分

前庭～最上古道～本沢を巡るコースで新緑の植物園を満喫!

コース 前庭→残月亭跡→最上古道→メグスリ坂→本沢→前庭

2 5 ロックガーデンの植物を知ろう

所要時間
1時間00分

ロックガーデンの植物を解説します。山歩きが苦手な方にもお勧め!

コース ロックガーデン

3 文化財からみる青葉山の歴史

所要時間
2時間00分*1

現代から過去に遡り、残されている文化財を通じて青葉山をめぐる歴史的な事柄について解説します。

コース 前庭→蒙古の碑→残月亭跡・二の丸杉並木→最上古道入口→カタクリ道→見晴台(休憩)・堀切→モミノキ道→前庭

講師 菅野 智則・石橋 宏
(東北大学埋蔵文化財調査室)

募集人数
20名*2
程度

6 近現代の植物園と川内キャンパス

所要時間
1時間00分*3

東北大学植物園を含む川内キャンパスの明治以降の歴史を振り返ります。

コース 植物園→川内キャンパス
講師 加藤 諭
(東北大学史料館)

募集人数
20名*4
程度

*1: 本館講義室にて講義(約30分)の後に1時間30分ほど園内を散策
*2: 先着順 9:00～本館講義室前で受付

*3: 本館講義室にて講義(約20分)の後に40分ほど園内を散策
*4: 先着順 13:00～本館講義室前で受付

各ガイドツアーの当日の集合場所は表面にあります

Access

地下鉄東西線「国際センター駅」・「川内駅」下車、徒歩約12分。

観光循環バス るーぶる仙台「仙台駅」16番から乗車、「博物館・国際センター前」下車、徒歩約14 / 18分

Contact

東北大学植物園: 〒980-0862 仙台市青葉区川内12-2

022-795-6760

tohokubg.office.event@grp.tohoku.ac.jp

東北大学市民オープンキャンパス

紅葉の賀

平成30年11月3日(土) 文化の日 開催

東北大学植物園公開 (無料) 9:00~16:00

午前・昼の部 9:00~13:00 東北大学植物園

- 9:00~13:00 俳句会 (投句自由・囑目吟一句。投句箱は植物園受付に設置。13:00 投句締切)
- 10:00~10:15 オープニング・セレモニー
あいさつ 牧 雅之 (東北大学植物園長)
森本 浩一 (文学研究科研究科長)
- 10:00~13:00 野点 茶道裏千家正教授 小野 宗智 (杜の都伝統文化活性化実行委員会代表)
- 10:20~10:50 弦楽四重奏 小窪 彩夏 野々瀬 真理
伊藤 黎史 猪島 早智 (文学部学生)
- 11:00~12:30 植物園内ガイド付散策 (10:55 植物園前集合)
柳原 敏昭 (文学研究科教授) 米倉 浩司 (東北大学植物園助教)

午後の部 13:30~15:30 東北大学文学部第一講義室

- 13:30~14:50 公開講演会 (無料)
広重に〈挿絵〉を描かせた人びと
高橋 章則 (文学研究科教授)
- 15:00~15:30 俳句会 授賞式
選・選評 柏原 眠雨 (前 俳人協会宮城県支部長・東北大学名誉教授)

会場：東北大学植物園・東北大学文学部第一講義室
(仙台市営地下鉄東西線 川内駅下車 南2出口から出て徒歩5~7分ほど)

主催：東北大学大学院文学研究科・東北大学植物園

協力：東北大学総合学術博物館

◇「紅葉の賀」は大学と市民による文化行事です。参加、聴講・投句は自由です。

◇駐車場は駐車台数に限りがありますので公共交通機関を御利用ください。

◇問い合わせ先：東北大学文学研究科総務係 H30実績(15/18) 電話 022-795-6003 (基本的に平日8:30~17:15)



5. 植物園未来基金の設立による財政基盤強化の取り

組み

No.66 ①-2 基金の充実

実績報告

植物園の有する天然記念物「青葉山」は、全国的にも希少な自然生態系として知られているが、近年、温暖化や都市化の影響による病虫害の影響でマツ枯れ、ナラ枯れが大量に発生し、適切な安全管理と自然保護の両立が困難な状況にある。そこで、先人からの貴重な自然遺産である「青葉山」を次世代に継承し、この自然を大学の研究教育、市民への社会教育に役立てることを目的とし、2018年10月1日に植物園未来基金を設立した。未来基金のパンフレットも作成し、寄付の増加と財政基盤強化を図っている。

 [5.植物園未来基金パンフ.pdf](#)

ご寄附の方法

本基金に関する寄附の手続きは東北大学基金事務局にてお受けします。寄附の方法は「個人の方」と「法人・団体の方」で異なります。詳細は下記をご確認ください。

個人としてお申込みをいただく場合

クレジットカード・郵便振替・銀行振込をご利用いただけます

クレジットカード決済をご希望の方は、東北大学基金ウェブページからお申込みください。東北大学基金ウェブページの寄附申込フォームにて、寄附の方法、寄附の目的をご指定ください。寄附の目的は「植物園未来基金(特定基金)」をご選択ください。

東北大学基金ウェブサイトからお申込みの場合 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/>

[税法上の優遇措置] 税務署に確定申告をいただくことにより、税制上の優遇措置を受けることができます。

法人としてお申込みをいただく場合

お申込書をお送りいたしますので、東北大学基金事務局までご連絡ください

[税法上の優遇措置] 寄附金額全額を損金に算入することができます。

東北大学基金からの顕彰・特典

● 東北大学基金ウェブサイトへの芳名の掲載

東北大学基金ウェブサイト「寄附者芳名帳」等にお名前を掲載いたします。ただし、「お名前の公表を希望しない」旨のご連絡をいただいた方については、掲載いたしません。

● 東北大学ロゴマークのオリジナルシールを贈呈

薛絵風の写し絵シールを台紙に貼ってお届けします。

● 賞および記念プレートの贈呈ご寄附金額に応じて賞を贈呈

功労賞以上の賞を受け取られた寄附者様に以下の特典を用意しています

寄附者顕彰銘板への芳名の掲載

東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲載させていただきます。

「感謝のつどい」へのご招待

総長をはじめとした本学関係者との交流・意見交換を目的とした「東北大学基金感謝のつどい」へご招待いたします。

東北大学校友会プレミアム会員としての特典

広報紙の送付、大学主催のイベントへご招待いたします。

種別	個人	法人
栄誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上
功労賞	100万円以上	1,000万円以上
特別功績賞	50万円以上	500万円以上
功績賞	10万円以上	100万円以上
貢献賞	1万円以上	10万円以上

植物園未来基金からの顕彰・特典

貢献賞以上を受け取られた寄附者様に以下の特典を用意しています。

● 寄附者顕彰銘板への芳名の掲載

東北大学植物園内に設置している「東北大学植物園未来基金寄附者顕彰銘板」に掲載させていただきます。(掲示をご承諾された方のみ)さらに、功績賞以上の賞を受け取られた寄附者様には以下の特典を用意しています。

● 「特別行事」へのご招待

非公開地域を含む園内特別ガイドツアーなどへご招待いたします。希望者には特別行事の際にご案内いたします。

基金の用途

皆様からの貴重なご寄附は、主に天然記念物「青葉山」の保全と教育・研究活動の用途に活用させていただきます

- 「青葉山」の保全活動
- 「青葉山」をフィールドとした大学および社会教育活動
- その他、植物園として維持管理・機能強化を行うために必要とみとめた内容

寄附の方法・特典などに
関するお問合せ先

東北大学基金事務局(東北大学総務企画部社会連携課内)
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
TEL:022-217-5058 / 022-217-5905 E-MAIL:kikin@grp.tohoku.ac.jp



TOHOKU UNIVERSITY BOTANICAL GARDENS FUND

The Botanical Gardens were founded in 1958 by Tohoku University, for both research and education purposes. We rely on your generosity to maintain Aobayama in its designation as Natural Monument, and to support our research.

Be a donor and help us continue our proud tradition as a "natural-habitat botanical garden".

東北大学植物園 未来基金のご案内



仙台城

「御裏林(おうらばやし)」を 未来へ受け継ぐ

ごあいさつ

東北大学植物園は、1958年に研究と教育のために設立された自然植物園です。面積は52万㎡で、日本の大学の植物園としては最大の敷地面積があります。植物園のある地は、慶長5年(1600年)に伊達政宗が築城を開始した仙台城の御裏林(おうらばやし)、通称「青葉山」として、防備上の理由から数百年にわたり人手が加えられることが少ない状態で現在まで引き継がれてきました。そのため、都市近郊にもかかわらず、仙台地方の丘陵地の自然植生であるモミの美林をはじめ、貴重な自然生態系が遺されており、国指定天然記念物「青葉山」に指定されています。太古の森の面影を残す森に、四季折々の花が咲くこの地は、社の都「仙台」の象徴ともいえる場所です。また、園内には本丸の水源である「御清水(おすず)」(非公開)、蒙古の碑、堀切など史跡も遺されています。

しかし、近年、地球温暖化と都市化などの影響により、マツ枯れやナラ枯れの大量発生による急速な植生遷移、豪雨、強風による土砂崩れや倒木の頻発など、かつてはなかった新たな問題が発生し、江戸時代から続く貴重な自然生態系を適切に維持管理し、保全することは徐々に困難になっていきます。本基金は、天然記念物「青葉山」という先人からの貴重な自然遺産を次世代に継承し、さらにこの自然を大学の研究教育、一般社会教育に資することを目的とするものです。

皆さまにおかれましては、本基金の目的をご理解の上、今後ともご厚意、ご支援を賜りたく存じます。

東北大学植物園

GARDEN MAP

東北大学植物園

- モミ林
- スギ林
- コナラ林
- ヨシ原
- アカマツ林
- アカシデ林

望洋台
広場



おすすめコース

森林浴コース 90分

季節ごとに目まぐるしく変わる豊かな青葉山の自然を堪能できるハイキングコースです。

[コース順序]

- 1 3 5 6 9 12 14 1

せせらぎコース 40分

沢沿いには、大都市近郊とは思えない静かで豊かな自然環境が残されています。

起伏が少ないため、ロックガーデンと合わせて、ゆっくりと自然観察が楽しめるコースです。

[コース順序]

- 1 15 16 17 16 15 ロックガーデン

- カタクリ
4月上旬～中旬
園内観察路
(見晴台周辺など)
- ヤンタケヨシノ
5月上旬～中旬
望洋台
- ヒメシヤガ
5月中旬～下旬
園内観察路
(望洋台周辺など)
- ギョリヨウソウ
5月下旬～6月上旬
園内観察路
- ゼンテイカ
6月上旬～6月中旬
ロックガーデン周辺
- ヤマゴロ
7月上旬～7月下旬
園内観察路
- ミヤキノハキ
9月上旬～9月下旬
ロックガーデン周辺、望洋台

- ユウシヨウソウ
4月上旬～5月中旬
園内観察路
(望洋台周辺など)

- ムヨウソウ
6月下旬～7月上旬
園内観察路
- サウギキョウ
8月中旬～9月下旬
ロックガーデン周辺
- アキノキリンソウ
9月中旬～10月下旬
園内観察路
- シメソウシキョウ
9月上旬～10月下旬
ロックガーデン周辺

史跡「仙台城跡」

仙台城二の丸の杉並木

仙台城二の丸の西側に沿って植えられたスギ並木の一部で、現在でも約30本が生存しています。樹齢は300年を超えるものが多くあります。

堀切跡

仙台城本丸背後の防備を固めるために、自然の地形を利用して作られた堀切の跡です。

残月亭(残月亭御茶屋跡)

伊達政宗が茶人・清水道閑に造らせた茶室です。この跡地は宝永7年(1710)に5代藩主吉村が建てた茶室のあった場所です。

御清水(非公開)

伊深沢の沢頭から湧き出る清水(仙台城本丸の重要な水源)で、現在でも湧水が確認されています。

蒙古の碑と正安の碑

弘安10年(1287)と正安4年(1302)に建てられた板碑で、梵字や設立主旨などが刻まれた供養棟です。蒙古の碑は、霜月騒動(1285)で敗死した陸奥守・安達泰盛の供養のためのものと推定されています。



仙台二の丸の杉並木

蒙古の碑(左)と正安の碑(右)

詳しくは東北大学植物園のウェブサイトをご覧ください | <https://web.tohoku.ac.jp/garden/>